

町田市の人口年表

年号	西 暦	記 事
弥 生	B.C 86 A.D 588 646 743	人口調査実施。 全国人口393,115人。 班田・租庸調法制定（6年毎実施）。 この頃小山町の窯跡から推し、相模の国に属していたと思われる。 墾田永代私有の法制定→開墾さかんとなる。
享保 6	A.D 1721 1805	徳川吉宗人口調査。全国人口26,065,425人、これ以降1846年まで16回実施。 関東取締出役設置。「寄場名主」を筆頭に組合村形成。この頃よりさかんに村概況、戸数人口、道、橋、秣場、助郷等詳に調査し各村の明細帳として作成。
慶応 4	A.D 1868	市域武蔵知県事、韭山県管轄となる。「江戸」が「東京」となり、旧東京府設置。
明治元 2 3 4 5 9 11 21 22 26 28 32 33	A.D 1868 1869 1870 1871 1872 1876 1878 1888 1889 1893 1895 1899 1900	この頃までに上図師、下図師、上下図師村持添統合、上下図師村となり、のち図師村と称す。 この頃小川・高ヶ坂・鶴間・金森・成瀬は神奈川県に、他は品川県に所属。東京奠都。 この頃市域の人口約14,000人。 戸籍編成規則回達、「平民族戸籍」編成。 戸籍編成に際し五人組復活、伍長を置く。戸籍法制定（壬申戸籍）。戸籍区制実施につき市域は第30、第31、35区に含まれる。廃藩置県。東京府設置。寺請制から氏子守札制移行。この頃原町田・本町田・森野・南大谷→品川県より神奈川県に編入される。 土地永代売買の禁を解き、所有者に地券（壬申地券）下付。明治6年にかけて物産調査施行。 太陽暦採用。市域の組合村解体。庄屋などを廃し、戸長などと改称す。 （壬申）戸籍編成のための全国戸口調査実施。 原町田の大火（ローソク屋出火）。氏子守札制での人口調査廃止。 この頃の市域の人口約14,000人。 三新法（郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則）公布。神奈川県多摩郡を西・北・南に分割。翌年までに大谷村→南大谷村となる。原町田・本町田・森野・南大谷→南多摩郡に入る。 市制・町村制公布。 市域24村から鶴川・南・忠生・町田・堺の五村に合併する。大日本帝国憲法発布。 東京市制施行。 4月1日三多摩東京府へ移管につき、市域も東京府となる。 下関条約。12月31日現在人口18,637人、3,329戸。 南多摩郡、郡制施行。耕地整理法分布。 人口20,184人、3,328戸。 1904年横浜鉄道本社、東神奈川に創立。1908年横浜鉄道（八浜線）開通に伴い原町田駅開設。同年忠生村役場新設（図師1448番地、現在の図師大橋付近）。
大正 2 9 10 12	A.D 1913 1920 1921 1923	町田村→町田町となる。1915年町田町役場新築（原町田1241番地 4、現都南デパート付近）。 1917年横浜鉄道国有化。この頃日本の生糸生産額世界の6割に達す。 戦後恐慌。第1回国勢調査実施（町田分人口23,620人）。 郡制廃止法公布。同年原町田駅前タクシー開業される。 関東大震災。市域の死者28人、被害も甚大。南多摩郡廃止。

年号	西暦	記	事
昭和 2	A. D 1927	小田急線（新宿－小田原）開通。新原町田駅、鶴川駅設置。	
4	1929	世界経済恐慌（日本は 1年遅れ）帝都昼間人口調査。	
5	1930	町田乗合バス会社設立。	
8	1933	9月 8日町田町大火災（115戸焼失）。	
15	1940	第 5回国勢調査（市域人口 32, 020人）。1941年太平洋戦争勃発。1842年食糧管理法制定。1943年東京都制実施。1944年資源調査法による人口調査。	
20	1945	市域各地に爆弾投下。太平洋戦争終焉。市域全体の戦死者 1, 135人。資源調査法による人口調査。第 6回国勢調査（市域人口 50, 528人）。	
21	1946	日本国憲法公布。	
22	1947	統計法公布。東京都昼間人口調査。 1948年常住人口調査。1952年住民登録法施行（S. 27. 7. 1）。同年金森に都営引揚者住宅建設、以後都営住宅建設続く。	
29	1954	町田町・南村合併。1957年首都圏整備法施行。	
33	1958	首都圏整備法指定第 1号。2月 1日町田市制施行。世帯 12, 970、人口 61, 105、男 30, 619、女 30, 486。 1961年高ヶ坂団地入居。東京都の常住人口 1千万人突破。1963年森野・木曾団地入居。	
39	1964	（S. 39. 5. 1）人口 100, 928人、26, 808世帯。同年オリンピック東京大会（第18回）開催。1965年本町田団地入居。	
42	1967	鶴川団地入居。住民基本台帳法施行（S. 42. 11. 10）。1968年境川団地・山崎団地入居。1968年東急田園都市線つくし野駅開業。	
45	1970	藤の台団地入居。住基人口 200, 459人、61, 609世帯（S. 45. 10. 1）。市役所新庁舎オープン。新都市計画法による三多摩の市街化調整。団地白書発表。第11回国勢調査実施。	
47	1972	沖縄返還。集中豪雨で境川氾濫、各地に被害。	
50	1975	市営水道事業都へ移管。第12回国勢調査（S. 50. 10. 1）人口 255, 305人、73, 371世帯。	
55	1980	第13回国勢調査（S. 55. 10. 1）人口 295, 405人、89, 547世帯。	
60	1985	第14回国勢調査（S. 60. 10. 1）人口 321, 188人、100, 826世帯。	
63	1988	高齢者人口 7. 09%になる。	
平成 2	A. D 1990	第15回国勢調査（H. 2. 10. 1）人口 349, 050人、119, 009世帯。	
3	1991	京王相模原線多摩境駅開業。	
7	1995	1月17日 阪神淡路大震災 死者 6, 300人以上、被災者 30万人を越える大災害。 第16回国勢調査（H. 7. 10. 1）人口 360, 525人、130, 739世帯。	

※ 「東京都人口年表」及び「町田市歴史年表」、「町田の歴史をさぐる」等ご参照ください。